

2014年度中部支部 通常総会

1. 開催日：2014年 6月10日(火)

2. 場所：名古屋国際会議場(名古屋市熱田区熱田西町1番1号)
 地下鉄「日比野」または「西高蔵」下車徒歩約5分
 (※会場までの交通案内および会場案内は通常総会プログラムをご参照下さい)
 駐車場は約600台駐車可能(700円/1日1回)

3. 開催行事：

行事	時間	会場	参加費
研究発表会	9:50～11:40	2号館 3階234会議室	会員： 1,000円 会員外(一般) 3,000円 学生(会員・会員外) 無料
		2号館 3階232～233会議室	
		2号館 2階224会議室	
理事會	10:40～11:40	2号館 2階222・223会議室	—
通常総会	13:00～14:00	1号館 4階レセプションホール	無料
先輩講話	14:10～14:50	【一般公開】 1号館 4階レセプションホール	一般公開で会員に限らず どなたでも無料で参加い ただけます
特別講演会	15:00～16:10		
アトラクション	16:30～17:30		
会員パーティー	17:50～19:20	1号館 7階展望レストラン	7,000円

4. お申込：お申込は通常総会プログラム または 中部支部ホームページをご参照下さい。

5. 通常総会：

- *開会の辞 *支部長挨拶 *来賓挨拶 *議長選出
- *議事
 - ① 2013年度 事業報告に関する件
 - ② 2013年度 会計決算報告に関する件
 - ③ 2013年度 事業および会計監査報告に関する件
 - ④ 2014年度 中部支部事業計画に関する件
 - ⑤ 2014年度 中部支部予算に関する件
- *支部事業活動功労者に感謝状と記念品贈呈
- *本部フェローの贈呈 *閉会の辞

セッション	会場	時間	テーマ	発表者
第1会場 (パワートレイン)	2号館 3階 234会議室	9:50 ~10:10	ハイブリッド車用マルチロックVVTの開発	# アイシン精機(株) 機関技術部 小林 昌樹
		10:10 ~10:30	レシオカバレッジ拡大プーリーの開発	# ジヤトコ(株) 先行技術開発部 辻 洋一
		10:30 ~10:50	錫の分布を最適化した鉛フリーアルミ合金軸受の開発	# 大同メタル工業(株) 技術ユニット 研究開発センター 小瀬 晃宏
		11:00 ~11:20	エンジンの潤滑油量最適化の取り組み	# 大豊工業(株) 先行製品開発部 疋田 康弘
		11:20 ~11:40	振動操作関数の自動車技術への応用	# 三重大学大学院工学研究科 機械工学専攻 量子物性研究室 小竹 茂夫 川北 雄一朗
第2会場 (エレクトロニクス・環境・生産技術)	2号館 3階 232~233会議室	9:50 ~10:10	PHV/EVの非接触給電システムのEMC評価法開発	* トヨタ自動車(株) 電子技術統括部 森 晃
		10:10 ~10:30	車載用永久磁石同期モータの省レアアース化の取り組み	* スズキ(株) 四輪電動車設計部 青山 真大
		10:30 ~10:50	プローブデータを活用した航続可能距離演算手法の検討	* 三菱自動車工業(株) 開発本部 車両先行研究部 前間 浩二
		11:00 ~11:20	植物材料が金型に与える影響	* トヨタ車体(株) 新規事業開発部 前田 佳宏
		11:20 ~11:40	CVT ケース粗材への薄肉化技術の適用	* ジヤトコ(株) 部品技術部 奥田 匡
第3会場 (安全・操安性・快適性)	2号館 2階 224会議室	9:50 ~10:10	二輪車用通信利用型運転支援システムの機能評価	※ ヤマハ発動機(株) 技術本部研究開発統括部 先進技術研究部 尾上 太郎
		10:10 ~10:30	車載装備を利用した漫然状態解消技術の開発	※ (株)デンソー 情報安全グループ 久米 拓弥
		10:30 ~10:50	フロントピラー視界性能の向上	※ トヨタ自動車東日本(株) 第一実験部 澄川 瑠一
		11:00 ~11:20	全車速ACCのためのソフトストップブレーキ制御	※ (株)アドヴィックス 制御第4技術部 橋本 陽介
		11:20 ~11:40	着座姿勢の個人差を表現するマネギンの開発	※ トヨタ紡織(株) 実験部 西垣 佳臣

7. 先輩講話(14:10~14:50)1号館4階レセプションホール<<一般公開>>

- 講師:さんぼう会 加藤 伸一氏(トヨタ自動車株式会社 顧問)
- 演題:産学官連携について考える
- 講演要旨:これからの日本のモノづくりを考えると、「産学官」の連携強化は不可欠な課題である。しかしながら、技術移転の「場」である拠点の確保・活用に関しては十分な状況ではない。
産学官の連携に対する多くの問題点を明確にするとともに、更なる連携強化に向けた提言と産学官が協力して日本の未来に何が出来るか考察する。



8. 特別講演会(15:00~16:10)1号館4階レセプションホール<<一般公開>>

- 講師:遠藤 佳代子氏(NPO 法人 J-Win ネットワーク事業部長)
- 演題:女性技術者が生き活きと働き続けるために ~男性にもヒント~
- 講演要旨:女性の活躍推進が叫ばれていますが、なぜ日本は女性の活躍が遅れているのか、女性技術者が職場で生き活きと活躍するためには何が必要なのかについて、提案をしていきます。男性と女性とでは脳の構造が違うために仕事の考え方や進め方に違いがあります。それが職場で思わぬ誤解を生じさせています。そこを知れば、お互いにもっと双方を活用しながら仕事ができるはず。男女共に聞いて頂きたい“明日から使えるヒント”を提供致します。



9. アトラクション(16:30~17:30)1号館4階レセプションホール<<一般公開>>

ダブルリード楽器演奏

- 出演:名古屋ダブルリードアンサンブル
オーボエ:宮澤 香氏、小木曾 榮里子氏 オーボエダモーレ:石田 正氏
イングリッシュホルン:小室 真美氏 ファゴット:野村 和代氏 コントラファゴット 富士川 健氏

- 世界的にも珍しいダブルリード(2枚リード)属の楽器からなる演奏団体で、中部地方で活躍するプレイヤーにより結成されています。160曲以上の幅広いレパートリー、豊かな音色と質の高い演奏が好評で、CD「甘い夢」(2009)、「Sweet Reverie」(2009)、「星に願いを」(2013)などもリリースし、今後の活動が注目されている団体です。

- 演奏予定:カッチーニ「アヴェ・マリア」、マスネ「タイスの瞑想曲」、フォスター「フォスター・メドレー」、他



10. 会員パーティー

会員相互の親睦を深めて頂く良い機会ですので多数の方のご参加をお待ちしています。

2014 - 第1回見学会

開催日時	2014年4月11日(金)
会場	本田技研工業(株) 鈴鹿製作所
スケジュール	12:55 近鉄白子駅東口 集合・受付・バス移動 13:30 鈴鹿製作所概要説明 14:20 工場見学(N-BOX N-WGN) 15:00 休憩 15:10 技術講演「スチール アルミニウム合金の接合技術」 ～アコードにて実用化 異材接合サブフレームの開発～ 16:00 質疑応答 17:00 近鉄白子駅 解散
集合場所	※添付地図「0411honda.xls」ご参照ください。
集合時間	12:55
定員	50名
申込方法	下記「申込み方法はこちら」に記載の申込方法・留意点に従い<中部支部行事申込書>に必要事項をご記入の上、お申込み下さい。
申込締切日	2014年3月21日(金)
参加費	<見学会は当日現金払いのみです>正会員 1,000円 会員外 3,000円 学生は会員・会員外ともに無料◎当日現金お支払と引換えに領収書を発行致します。つり銭のなきようご用意願います。
参加者条件など	注)現地に駐車場は用意しておりません。集合場所からは当支部手配のバスにご乗車頂き、現地へ向かいます。
添付ファイル	0411honda.xls

2014 - 第2回見学会

開催日時	2014年5月28日(水)
会場	ダイハツ工業(株) 滋賀(竜王)工場
スケジュール	12:45 JR 東海道線・近江鉄道線 近江八幡駅南口集合 受付・バス移動 13:30 挨拶、工場概要説明 14:00 工場見学 14:40 質疑応答 15:00 講演会「軽自動車って面白い」 16:00 質疑応答 16:45 近江八幡駅解散
集合場所	※添付「0528map.xls」の地図をご参照ください。
集合時間	12:45
定員	50名
申込方法	下記「申込み方法はこちら」に記載の申込方法・留意点に従い<中部支部行事申込書>に必要事項をご記入の上、お申込み下さい。
申込締切日	2014年5月7日(水)

参加費	<見学会は当日現金払いのみです>正会員 1,000 円 会員外 3,000 円 学生は会員・会員外ともに無料◎当日現金お支払と引換えに領収書を発行致します。つり銭のなきようご用意願います。
参加者条件など	注)現地に駐車場は用意しておりません。集合場所からは当支部手配のバスにご乗車頂き、現地へ向かいます。
添付ファイル	0528map.xls

2014 - 第3回見学会

開催日時	2014年6月20日(金)
会場	スズキ(株) 湖西工場
スケジュール	12:30 JR鷺津駅 集合・受付・バス移動 13:10 挨拶・スケジュール説明 13:20 工場案内ビデオ上映 13:40 工場概要説明 14:00 工場見学 軽自動車車両組み立てライン 15:30 技術講演会:スズキの低燃費技術 ～エネチャージを始めとする SUZUKI GREEN Technology～ 16:20 質疑応答 17:00 JR鷺津駅 解散
集合場所	※添付地図「140620suzuki.xls」ご参照ください。
集合時間	12:30
定員	50名
申込方法	下記「申込み方法はこちら」に記載の申込方法・留意点に従い<中部支部行事申込書>に必要事項をご記入の上、お申込み下さい。
申込締切日	2014年5月30日(金)
参加費	正会員 1,000 円 会員外 3,000 円 学生は会員・会員外ともに無料◎当日現金お支払と引換えに領収書を発行致します。つり銭のなきようご用意願います。
参加者条件など	注)現地に駐車場は用意しておりません。集合場所からは当支部手配のバスにご乗車頂き、現地へ向かいます。
添付ファイル	140620suzuki.xls

2014 - 第4回見学会

開催日時	2014年6月27日(金)
会場	トヨタ車体(株)富士松工場 → 刈谷産業振興センター
スケジュール	★移動は中部支部手配のバスにご乗車頂きます★ <参加者のバス乗車場所と時間> ※ 北陸地区の自動車技術会担当より、参加者の方に直接ご連絡致します。 9:30～11:40 見学会 トヨタ車体(株)富士松工場 (新型 VOXY・NOAH 生産ライン)

	11:40～12:10 バス移動 12:10～13:00 昼食(於:刈谷産業振興センター) 13:00～16:40 第2回技術講習会(於:刈谷産業振興センター) ※講演内容などの詳細は「第2回技術講習会(刈谷市)」のご案内をご参照ください。 16:40～ 帰路(乗車場所を經由)
概要	注)当日の集合場所など詳細は参加者にご案内致します。
集合時間	09:20
定員	30名
申込方法	下記「お申込方法はこちら」から必要事項をご記入の上、お申込下さい。
申込締切日	2014年6月6日(金)

2014 - 第5回見学会

開催日時	2014年7月18日(金)
会場	中部国際空港セントレア http://www.centrair.jp/map/
スケジュール	12:50 中部国際空港セントレア内ホワイエ付近 現地集合・受付、講演会場へ徒歩移動 13:00 挨拶・概要説明・講演 「(仮題)セントレアの概要と近況」 14:15 保安検査(※身分証明書をご提示頂きます) 検査終了後に見学現場へバス移動 14:30 滑走路外周等の見学 16:10 中部国際空港セントレア内ホワイエ解散
概要	★ご注意ください★ ①セントレア見学会は正会員限定企画です。 ⇒会員外(賛助会員含む)の方はご参加できません。 また、代理出席不可です。必ず申込者ご本人様にご参加ください。 ②本見学会へお申込頂く際には、詳細な個人情報が必要となるため、お申込される前に申込用紙に記載の注意事項をご確認頂き、ご提示頂かなくてはならない個人情報や参加費などの内容をご納得頂いた上で、お申込くださいますようお願い致します。 ③本見学会の参加費は通常とは異なります。 ⇒正会員:2,000円(通常1,000円)となります。 ④ご提示及び同意を頂けない場合は、いかなる理由があってもご参加頂くことはできません。
集合場所	中部国際空港セントレア内ホワイエ付近 ※添付地図「0718centrair map.xls」「foyer access map.doc」をご参照ください。
集合時間	12:50
定員	50名
申込方法	添付 専用申込用紙「0718centrair application form.xls」にて、事前に記載の注意事項をよくご確認の上、同意頂けるかどうかと、必要事項を全てご入力後、e-mail<chubu@jsae.or.jp>またはFAX<0566-36-2553>へお申込ください。
申込締切日	2014年6月27日(金)

参加費	正会員 2,000 円
参加者条件など	正会員限定
添付ファイル	0718centrair map.xls 0718centrair application form.xls foyer access map.doc

2014 - 第6回見学会

開催日時	2014年9月12日(金)12:45~17:00
会場	東レ(株) オートモーティブセンター
スケジュール	12:45 名鉄「神宮前」駅 西側ロータリー集合・受付・バス移動 13:30 挨拶・概要説明 13:50 オートモーティブセンター見学 15:15 技術講演会:炭素繊維材料(CFRP)の自動車用途展開 16:00 質疑応答 17:00 名鉄「神宮前」駅 解散
集合場所	※添付地図「140912toray.xls」ご参照ください。
集合時間	12:45
定員	40名
申込方法	下記「申込み方法はこちら」に記載の申込方法・留意点に従い、中部支部行事申込書>に必要事項をご記入の上、お申込み下さい。
申込締切日	2014年8月22日(金)
参加費	正会員 1,000 円 会員外 3,000 円 学生は会員・会員外ともに無料◎当日現金お支払と引換えに領収書を発行致します。つり銭のなきようご用意願います。
参加者条件など	注)現地に駐車場は用意しておりません。集合場所からは当支部手配のバスにご乗車頂き、現地へ向かいます。
添付ファイル	140912toray.xls

2014 - 第7回見学会

開催日時	2014年10月31日(金)13:00~16:40
会場	アスモ(株) 本社工場
スケジュール	13:00 JR「新所原」駅 集合・受付・バス移動 13:15 挨拶・概要説明 13:50 工場見学 15:00 技術講演「モノづくりグローバル化への挑戦」 16:00 質疑応答 16:40 JR「新所原」駅 解散
集合場所	※添付地図「141031ASMO.xls」をご参照ください。
集合時間	13:00

定員	40名
申込方法	添付「141031ASMO.xls」の<アスモ㈱見学会申込書>に必要事項をご記入の上、お申込み下さい。
申込締切日	2014年10月10日(金)
参加費	正会員 1,000円 会員外 3,000円 学生は会員・会員外ともに無料◎当日現金お支払と引換えに領収書を発行致します。つり銭のなきようご用意願います。
参加者条件など	注)現地に駐車場は用意しておりません。集合場所からは当支部手配のバスにご乗車頂き、現地へ向かいます。
添付ファイル	141031ASMO.xls

2014 - 第8回見学会

開催日時	2014年11月13日(木)09:30~16:30
会場	陸上自衛隊 今津駐屯地
スケジュール	【※スケジュール掲載いたしました】変更の可能性もございます 9:30 JR「米原」駅 集合・受付・バス移動 11:10 挨拶・概要説明 11:30 隊員食体験(隊員食堂) 12:30 事前説明 13:30 戦車試乗、資料館見学 他 14:30 挨拶 15:00 移動 16:30 JR「米原」駅 解散
集合場所	※添付地図「20141113JGSDF.xls」をご参照ください。
定員	40名
申込方法	添付「20141113JGSDF application form.xls」に必要事項をご記入の上、お申込み下さい。
申込締切日	2014年9月26日(金)
参加費	正会員 1,000円 会員外 3,000円 学生は会員・会員外ともに無料◎当日現金お支払と引換えに領収書を発行致します。つり銭のなきようご用意願います。
参加者条件など	注)現地に駐車場は用意しておりません。集合場所からは当支部手配のバスにご乗車頂き、現地へ向かいます。
添付ファイル	20141113JGSDF.xls 20141113JGSDF application form.xls

2014 - 第9回見学会

開催日時	2014年12月3日(水)12:40~17:00
会場	日本軽金属㈱ 蒲原製造所
スケジュール	12:40 JR「新富士」駅 集合・受付・バス移動 13:00 挨拶・概要説明 13:40 工場見学 15:50 技術講演・質疑応答 「革新的、連続薄板鋳造法(フレックスキャスター)による成形性・強度を両立する自動車用アルミプレス材の開発」 16:40 バス移動 17:00 JR「新富士」駅 解散

集合場所	※添付地図「NLM.xls」をご参照ください。
集合時間	12:40
定員	40名
申込方法	下記「申込み方法はこちら」に記載の申込方法・留意点に従い<中部支部行事申込書>に必要事項をご記入の上、お申込み下さい。
申込締切日	2014年11月12日(水)
参加費	正会員 1,000円 会員外 3,000円 学生は会員・会員外ともに無料◎当日現金お支払と引換えに領収書を発行致します。つり銭のなきようご用意願います。
参加者条件など	注)現地に駐車場は用意しておりません。集合場所からは当支部手配のバスにご乗車頂き、現地へ向かいます。
添付ファイル	NLM.xls

2014 - 第10回見学会

開催日時	2015年1月30日(金)12:50~16:55
会場	(株)ブリヂストン 彦根工場
スケジュール	12:50 JR「彦根」駅 東口集合・受付・バス移動 13:15 スケジュール確認、挨拶・概要説明 13:40 DVD「タイヤができるまで」 14:10 工場見学 15:20 技術講演・質疑応答 「低燃費タイヤ技術について」 16:35 バス移動 16:55 JR「彦根」駅 解散
集合場所	※添付地図「BRIDGESTONE.xls」をご参照ください。
集合時間	12:50
定員	40名
申込方法	下記「申込み方法はこちら」に記載の申込方法・留意点に従い<中部支部行事申込書>に必要事項をご記入の上、お申込み下さい。
申込締切日	2015年1月9日(金)
参加費	正会員 1,000円 会員外 3,000円 学生は会員・会員外ともに無料◎当日現金お支払と引換えに領収書を発行致します。つり銭のなきようご用意願います。
参加者条件など	注)現地に駐車場は用意しておりません。集合場所からは当支部手配のバスにご乗車頂き、現地へ向かいます。
添付ファイル	BRIDGESTONE.xls

2014 - 第11回見学会

開催日時	2015年2月25日(水)12:55~17:00
会場	トヨタ自動車(株)堤工場
スケジュール	12:55 名鉄三河線「土橋」駅 南口集合

ール	<p>受付、バス出発</p> <p>13:30 挨拶・工場概要説明</p> <p>14:00 工場見学</p> <p>15:15 技術講演・質疑応答 「グローバルカムリの開発について ～ 2014 年マイナーと新エンジンの開発を中心に ～」</p> <p>16:40 バス移動</p> <p>17:00 名鉄三河線「土橋」駅 解散</p>
集合時間	12:55
定員	50 名
申込方法	下記「申込み方法はこちら」に記載の申込方法・留意点に従い＜中部支部行事申込書＞に必要事項をご記入の上、お申込み下さい。
申込締切日	2015 年 2 月 4 日(水)
参加費	正会員 1,000 円 会員外 3,000 円 学生は会員・会員外ともに無料◎当日現金お支払と引換えに領収書を発行致します。つり銭のなきようご用意願います。
参加者条件など	注)現地に駐車場は用意しておりません。集合場所からは当支部手配のバスにご乗車頂き、現地へ向かいます。
添付ファイル	TOYOTA0225.xls

2014 - 第12回見学会

開催日時	2015 年 3 月 13 日(金)09:30～18:00
会場	DMG 森精機(株)伊賀事業所
スケジュール	<p>09:30 名古屋名鉄バスセンター4F 集合 受付、バス出発</p> <p>11:30 会社概要、工作機械の基礎知識</p> <p>12:30 昼食 (※09:30～13:00 のスケジュールはバス利用の方のみ)</p> <p>13:00 バス利用以外の方合流</p> <p>13:10 工場見学</p> <p>15:10 技術講演(仮題)・質疑応答 「DMG 森精機の世界 NO.1 最先端技術」 「国内・海外における納入実績とサービス体制」</p> <p>16:00 バス移動(バス利用以外の方はここで解散)</p> <p>18:00 名鉄バスセンター名古屋 解散</p>
集合時間	09:30
定員	40 名
申込方法	下記「申込み方法はこちら」に記載の申込方法・留意点に従い＜中部支部行事申込書＞に必要事項をご記入の上、お申込み下さい。
申込締切日	2015 年 2 月 20 日(金)
参加費	正会員 1,000 円 会員外 3,000 円 学生は会員・会員外ともに無料◎当日現金お支払と引換えに領収書を発行致します。つり銭のなきようご用意願います。
参加者条件など	駐車場は 20 台程度ご用意出来ますが、駐車場を利用される方は、13:00 からのご参加となります。(11:30～13:00 のスケジュールはバス利用の方のみ)
添付ファイル	MORISEIKI0313.xls

開催日時	2014年4月18日(金)13:00~16:30
会場	アクトシティ浜松 コンgressセンター 41会議室(静岡県浜松市中区板屋町111-1) http://www.actcity.jp/about/access.php
テーマ	『電動化技術の将来』
スケジュール	<p>13:00 開会あいさつ</p> <p>13:10-14:10 「全性能をバランスさせる、「SUBARU 独自の HV」」 富士重工業(株) スバル技術本部 HEV 設計部 大堀 勇二 氏</p> <p>スバルらしい個性的なハイブリッド車として、SUBARU XV HYBRIDを開発した。低重心で重量バランスに優れたシンメトリカル AWD の資源はそのままに、燃費性能や動力性能だけでなく、運動性能や居住性、広い荷室スペースなど、走る愉しさと燃費向上を高次元で両立させたハイブリッドシステムを紹介する。</p> <p>14:20-15:20 「ハイブリッド自動車用 ニッケル水素蓄電池」 プライムアース EV エナジー(株) 第1技術部 海谷 英男 氏</p> <p>プライムアース EV エナジー社では、1997 年から 15 年間で累計約 600 万台のハイブリッド用ニッケル水素蓄電池(NiMH)を開発・製造している。ここでは NiMH の基本、民生用電池との違いや車載用に特化した当社独自の角型電池の構造や生産プロセスなどを紹介する。また、現在までの性能の進化や今後の方向、実車搭載として重要となる多数セルを組合わせたパック設計などについても言及する。</p> <p>15:30-16:30 「走りと燃費を高次元で両立させる SPORT HYBRID i-MMD」 (株)本田技術研究所 四輪 R&D センター 第1技術開発室 須永 義弘 氏</p> <p>2014 年モデル 新型アコードに搭載した新開発 2 モータハイブリッドシステム SPORT HYBRID i-MMD のシステム制御概要を紹介する。本ハイブリッドシステムはシリーズハイブリッド技術を基本に、更にエンジン直結機構を備えたシステムで、EV drive、Hybrid drive、Engine drive の 3 つのドライブモードを有する。高トルク・高出力モータの特長を活かしたスムーズな加速性および応答性を備えつつ、優れた燃費性能を達成した。</p>
概要	<p>自動車メーカー各社から発表が相次ぐHV車。近ごろは、メーカーの「らしさ」を追及したユニークなHVも選択できるようになってきた。そして、その動向は更に拡大していくことが考えられる。その一方で、クルマの電子化と電動化の進展が完成車メーカーと部品メーカーとの関係を大きく変えようとしている。そこで、今回は「らしさ」を追及したHVシステムやそれらを支えるコア技術を紹介することで、著しい成長を見せている『電動化技術』の将来 について展望する。</p> <p style="text-align: right;">以 上</p>
集合時間	13:00
定員	120 名
申込方法	下記「申込み方法はこちら」に記載の申込方法・留意点に従い<中部支部行事申込書>に必要事項をご記入の上、お申込み下さい。
申込締切日	2014年3月28日(金)
参加費	正会員 3,000 円 会員外 6,000 円 学生は会員・会員外ともに無料

開催日時	2014年6月27日(金)
会場	刈谷市産業振興センター 小ホール7階 (刈谷市相生町 1-1-6) http://www.city.kariya.lg.jp/shisetsu/sangyokeizai/sangyokoshinsenta/
テーマ	『安心・安全を考える』
スケジュール	<p>13:00~13:10 開会あいさつ</p> <p>13:10~14:00 「安全、安心を人間的側面から考察する」 情報化の進展に伴い、見えない脅威が増しているが、私たちにあって、安全、安心をどの様に考える必要があるのだろうか？ 安全と安心は同じように考えてよいのだろうか？ 更に、100%の安全は確保できるのだろうか？ 安全な環境や製品を提供し、多くの人たちが安心と感じるためには、私たちは、何をすべきだろうか？ 安全、安心やリスク/危険を人間的側面から考察する。</p> <p>情報セキュリティ大学院大学 名誉教授 内田 勝也 氏</p> <p>14:00~14:50 「高度運転支援システムの現状と将来」 交通事故死者低減率の鈍化や超高齢化社会の到来という社会的なニーズに加え、センサーなどITの進歩により事故回避などの運転支援システムが注目され「自動運転」への期待も高まっている。本講演では自動運転技術を用いた高度運転支援システムの現状と将来について説明するとともに、日本政府による新たなフレームワークである SIP での取り組みについて紹介する。</p> <p>トヨタ自動車株式会社 製品企画本部 主査 葛巻 清吾 氏</p> <p>15:00~15:50 「交通事故死ゼロに向けたブレーキ分野の取り組み」 アドヴィックスはブレーキ専門メーカーとして2001年発足し、自動車の安全に貢献している。近年、横滑り防止装置装着義務化、衝突回避機能の市販車への搭載など、交通事故低減に向けた安全技術のニーズが急速に高まってきており、ブレーキの高機能化が求められている。ここでは、交通事故死ゼロに向けたブレーキ分野の取り組みと最新技術について紹介する。</p> <p>株式会社アドヴィックス 制御第4技術部 係長格 工藤 健 氏</p> <p>15:50~16:40 「マツダ先進安全技術〈i-Activsense〉の技術紹介」 マツダでは事故の無い安全な車社会を目指して、先進安全技術 i-Activsense を CX-5、アテンザなどの新型車へ導入してきた。マツダの安全に対する考え方と、各種警報、自動ブレーキなど予防安全装備として具現化した機能、および、それらを支える技術について紹介する。</p> <p>マツダ株式会社 車両開発本部 車両システム開発部 主幹 小川 博文 氏</p>
集合時間	13:00
定員	160名
申込方法	下記「申込み方法はこちら」に記載の申込方法・留意点に従い〈中部支部行事申込書〉に必要事項をご記入の上、お申込み下さい。
申込	2014年6月6日(金)

締切日	
参加費	《2013 年度より技術講習会参加費が変更(☆印箇所)になりました》 正会員☆3,000 円 会員外 6,000 円 学生は会員・会員外ともに無料

2014 - 第3回技術講習会

開催日時	2014 年 8 月 29 日(金)13:00~16:30
会場	刈谷市産業振興センター 小ホール 7 階 (刈谷市相生町 1-1-6) http://www.city.kariya.lg.jp/shisetsu/sangyokeizai/sangyokoshinsenta/
テーマ	『つくり易い設計・不可能を可能にする加工技術』
スケジュール	<p>13:00~13:10 開会あいさつ</p> <p>13:10~14:10 「バリューチェーンの最大化を実現するモジュラー デザイン」 モジュラーデザインとは、限定された製造設備で造られた互換性が高い小数の部品(モジュール)を自在に組合わせて多様な製品を生出す設計手法である。その狙いは、設計・生産のやり方を根本的に変革し、製造・販売の構造を抜本的に革新させることにある。モノづくりのやり方を変えうるモジュラーデザインについて紹介する。</p> <p>日本モジュラーデザイン研究会 会長 日野 三十四 氏</p> <p>14:20~15:20 「設計・製造技術・設備開発 すべての力を結集したコンカレント・エンジニアリング」 開発初期段階より、専門分野の異なる技術者たちが集まり一体となって最高の製品を追求するコンカレント・エンジニアリング。開発期間の短縮は勿論のこと、「省エネ」「省資源」を同時に実現する開発手法を紹介する。</p> <p>三菱電機(株) 中津川製作所 住宅用換気送風機製造部 専任 水谷 敏彦 氏</p> <p>15:30~16:30 「「中空・軽量化」3次元屈曲パイプ射出成形技術『RFM』工法」 自動車や自動二輪車の構成部品にとって軽量化は大きなニーズであり、樹脂化が進んでいる。しかし、冷却用パイプ類は形状が複雑でかつ耐熱性や強度、耐薬品性などの必要要件から大半が鉄、アルミ等の金属製である。本件はガス圧によりフローティングコアを移動させて均一な内径・肉厚の中空パイプを樹脂で作る3次元屈曲パイプ射出成形技術を基に、中空・軽量化の技術を紹介する。</p> <p>RP 東プラ(株) 新事業開発本部 技術開発センター センター長 羽田 康彦 氏</p>
集合時間	13:00
定員	160 名
申込方法	下記「申込み方法はこちら」に記載の申込方法・留意点に従い<中部支部行事申込書>に必要事項をご記入の上、お申込み下さい。
申込	2014 年 8 月 26 日(火)

締切日	
参加費	《2013 年度より技術講習会参加費が変更(☆印箇所)になりました》 正会員☆3,000 円 会員外 6,000 円 学生は会員・会員外ともに無料

2014 - 第4回技術講習会

開催日時	2014 年 10 月 10 日(金)13:00~16:30
会場	三島市民文化会館 ゆうゆうホール(静岡県三島市一番町 20-5) http://www.mishima-youyouhall.com/
テーマ	『自動車(部品)ものづくりの最前線』
スケジュール	<p>13:00~13:10 開会の挨拶</p> <p>13:10~14:10 「自動車構造への CFRP 適用の背景と技術開発の動向」 燃料高騰、環境規制などの要因により、自動車構造の軽量化の要請が非常に強まっている。その切り札として、航空機構造ではいまや常識化している CFRP 構造の適用に注目が集まっている。本講演では、この背景と、CFRP 構造の適用の際の技術課題のコアについて述べるとともに、名大に設置されたナショナルコンポジットセンターでの技術開発状況について紹介する。</p> <p>名古屋大学ナショナル コンポジットセンター 石川 隆司 氏</p> <p>14:20~15:20 「CFRP を自動車構造に適用した「BMW i3」」 今日の自動車の最重要課題である CO2 排出量削減技術の一つに車体軽量化があり、材料転換が図られている。BMW は電気自動車の車体に CFRP を採用、大幅な軽量化により搭載電池を減少させた。この CFRP について、高い生産性と製造エネルギーをグリーン化する量産システムを構築した。</p> <p>山根健オフィス (BMW Japan 技術顧問) 山根 健 氏</p> <p>15:30~16:30 「3D プリンターを用いた新しいものづくり」 RP(Rapid Prototyping)から AM(Additive Manufacturing)へ至る、3D プリンターに関しての最新の進展と、金属積層造形技術(SLM)、鋳造への適用として、砂型を 3D プリンターで積層造形して複雑形状の鋳型を製作し、高機能、高付加価値鋳造品を製造するなど、製造技術への活用事例と将来の展望について述べる。</p> <p>独立行政法人 産業技術総合研究所 岡根 利光 氏</p>
概要	自動車技術者は環境・安全・快適性の各性能において、更なる向上を実現すべく日々の開発を行っている。CO2 排出量削減と安全性確保の両立に向けた、車両の軽量化を実現する「新しいものづくり」が重要な取組みのひとつである。本講演では、この分野で今後自動車技術への普及が期待される最新技術を紹介する。具体的には、複合材料として注目されている炭素繊維複合材料(CFRP)の開発と適用事例、製造現場に新しい発想をもたらす 3D プリンター技術の 3 件を紹介する。
集合時間	13:00
定	100 名

員	
申込方法	下記「申込み方法はこちら」に記載の申込方法・留意点に従い<中部支部行事申込書>に必要事項をご記入の上、お申込み下さい。
申込締切日	2014年9月19日(金)
参加費	正会員 3,000円 会員外 6,000円 学生は会員・会員外ともに無料

2014 - 第5回技術講習会

開催日時	2014年12月5日(金)13:00~16:45
会場	名古屋銀行協会 5階 大ホール(名古屋市中区丸の内2-4-2) http://www.nagoya-ba.or.jp/access.htm
テーマ	『女性技術者が生き活きと働くためのヒント』
スケジュール	<p>※最後に『講師と聴講者の交流の場』を設けました。(ご参加は自由です)</p> <p>13:00 開会あいさつ</p> <p>13:10-14:05 「女性がヒット商品を生み出すとき ~女性の活躍は明日への投資~」 マーケティングの世界では、消費財における女性の購買決定権は約8割と言われている。女性の心理を理解するためには、女性のマーケッターが必要であると言われて久しいが、女性の技術者を活かす方がより商品化へ近道であるという見方もできる。商品開発の中で女性の技術者を生かすための取り組みや、女性技術者自らがキャリアを上げるために必要な考え方等、自らの経験を交えながら紹介する。</p> <p>パナソニック(株) 顧問 森永製菓(株) 取締役 宮井 真千子 氏</p> <p>14:15-15:10 「金属材料の損傷・破損解析業務と資格取得挑戦、そして社会貢献活動」 私は入社以来、主に新製品開発プロジェクトで生じた現象について、金属材料部門の技術責任者として原因究明と対策の提案による設計支援業務を担当している。この業務で得た経験や資格取得で学んだ知識を利用して、息子の通う小学校でモノづくりの授業を始めた。今回、一般的な分析方法から今年8年目となる社会貢献活動について紹介する。</p> <p>日立オートモティブシステムズ(株) 調達 QA 部 材料信頼性グループ 木村 孝枝 氏</p> <p>15:20-16:15 「車載ネットワークとスマートフォンを連携したITS技術」 声に個性があるように、運転にも個性がある。私は音声で人を識別する話者認識の研究の経験から、運転の個性に着目した運転行動信号処理の研究を始めた。音声・ITS分野ともに女性の研究者は少なく、名古屋大学においても工学系の女性教員は3%程度にとどまる。本講演では、現在取り組んでいる、CANとスマートフォンを用いたITS技術の研究について紹介するとともに、女性が少ない工学の世界で働くモチベーションについてお話する。</p>

	<p>名古屋大学 大学院情報科学研究科 メディア科学専攻 助教 宮島 千代美 氏</p> <p>※16:15-16:45 『講師と聴講者の交流の場』 講演終了後に、講師の方々または聴講者同士の交流の場を設けました。会場後方テーブルに、ささやかではありますが飲み物・軽食(スイーツ)を準備しております。短い時間ですが、名刺交換や情報交換、ご歓談の場としてご利用ください。 (ご参加は自由です・参加費の変更はございません)</p> <p>以 上</p>
概要	<p>日本では将来的な人口減少にそなえる為にダイバーシティマネジメントが注目をあび、女性技術者の活躍・躍進への期待は高まる一方である。しかしながら、働く女性の労働環境整備はまだまだ遅れていると言わざるを得ない。今回はこのような状況の中で、努力・工夫をされて各分野の第一線で活躍する女性技術者・研究者に、関わる技術を紹介頂き、その道のり、成功に導くためのヒントについてもお話し頂く。男性技術者や管理者にも積極的に参加頂き、業務や職場内活性化のヒントになるよう理解を深めて頂きたい。</p>
集合時間	13:00
定員	160名
申込方法	<p>下記「申込み方法はこちら」に記載の申込方法・留意点に従い<中部支部行事申込書>に必要事項をご記入の上、お申込み下さい。</p>
申込締切日	2014年11月14日(金)
参加費	正会員 3,000円 会員外 6,000円 学生は会員・会員外ともに無料

2014 - 第6回技術講習会

開催日時	2015年2月27日(金)13:00~17:00
会場	<p>名古屋銀行協会 5階 大ホール http://www.nagoya-ba.or.jp/access.htm</p>
テーマ	『自動運転を支える部品の進化と今後』
スケジュール	<p>13:00 開会あいさつ</p> <p>13:10-14:00 「自動走行研究実証事業とJARIの取組み【基調講演】」 自動車業界のみならず多方面から注目と期待を受ける「自動運転」、JARIは、政府の成長戦略の一端として今年度から始まった戦略的イノベーション創造プログラム(SIP)「自動走行システムの研究・実証事業」の一翼を担うとともに、関連の事業推進に取り組んでいる。本講演では、自動運転の技術を何のために？どのように使うか？の議論も一部交えて、JARIが取り組む技術研究・実証事業を中心に、関連動向について紹介する。</p>

(一財)日本自動車研究所 ITS 研究部
部長 谷川 浩 氏

14:10-15:00

「安全運転を実現するセンシング技術【認知】」

近年、運転支援のシステムが急速に普及し、自動運転に関する論議も始まっている。これらの動向は、自動車をより安心・安全な乗り物に進化させるうえで重要な技術革新につながる。本講演では、これら安全運転を実現する上で不可欠な、センシング技術を紹介する。超音波・電波・光などの検出手段の切り口から要素技術を俯瞰するとともに、これらを組み合わせ、どのように自動車の安全性を高めてゆくかについても解説する。

(株)デンソー 技術開発センター 研究開発 3 部
部長 松ヶ谷 和沖 氏

15:10-16:00

「自動運転を支えるワイヤーハーネスの取り組み【伝達】」

近年、自動車への運転支援システムの導入が進み、自動運転が現実味を帯びてきている。その中で、電源や通信のインフラを担っているワイヤーハーネスにおいては、システム側から要求される機能と役割の増加が予測される。将来の自動運転システムを支えるインフラ構築に向け、電源分配と通信を中心としたワイヤーハーネスの取り組みを紹介する。

矢崎部品(株) 技術開発室 車載技術開発センター 先行電子PF企画部
主管 小倉 広幸 氏

16:10-17:00

「自動車の操舵系要素技術の現状と展望【操作】」

操舵装置は自動車の操作の重要要素の一つであり、横方向運動に大きな影響を与える。操舵装置は自動車を操る快適性にも影響を与えており、要素技術の進化と今後の自動運転に代表される高度運転支援技術に向けた展望について紹介する。

(株)ジェイテクト 研究開発本部 先進技術創生研究部
部長 瀬川 雅也 氏

以 上

概要

今や日本の自動車部品は世界中に輸出され、世界の自動車産業を支えていると言っても過言ではない。そこで、本講習会では今話題の自動運転を支える部品に焦点を当て、『認知、伝達/判断、操作』に繋がる、各種センサー、ワイヤーハーネス、アクチュエータなどの部品技術の現状と将来動向を紹介する。

集合時間

13:00

定員

160 名

申込方法

下記「申込み方法はこちら」に記載の申込方法・留意点に従い<中部支部行事申込書>に必要事項をご記入の上、お申込み下さい。

申込締切日

2015 年 2 月 6 日(金)

参加費

正会員☆3,000 円 会員外 6,000 円 学生は会員・会員外ともに無料

開催日時	2014年8月1日(金)13:00~18:20
会場	刈谷市総合文化センター「アイリス」401 研修室(刈谷市若松町 2-104) http://www.kariya.hall-info.jp/index.php?menuID=5
テーマ	『エンジン計測』
スケジュール	<p>【第1部 講演と討論】</p> <p>13:05-13:55 ①指圧計測とその重要性 ・指圧計測など基礎的な計測技術の解説と重要性の説明、 新燃焼形態エンジンの紹介等。</p> <p>千葉大学 大学院工学研究科機械系 教授 森吉 泰生 氏</p> <p>13:55-14:45 ②筒内可視化と関連周辺機器 ・筒内可視化技術とその可能性の解説。エンジン実験周辺機器 の紹介等。</p> <p>(株)小山ガレージ 専務取締役 小山 良行 氏</p> <p>14:55-15:45 ③吸気系および排気系の流量計測 ・吸気系、排気系、また EGR など主に気体流量計測の解説と 計測事例の紹介。</p> <p>(株)司測研 技術部 小山 哲司 氏 皆川 友宏 氏</p> <p>15:45~16:50 ④全体討議(出席者全員)</p> <p>【第2部】 ⑤意見交換会(出席者全員) ※立食形式にて、軽食・飲物のご用意があります。</p>
概要	<p>エンジン筒内現象については、計測技術と共に、流れと燃焼の計算技術が進んだ結果、その理解が深まりモデルベース開発が視野に入りつつある。計算結果は本来計測により検証しなければ使えないものであるが、近年、新しい燃焼形態の登場により計測対象は複雑化し、従来に増して高精度な計測技術が要求されている。</p> <p>今回、エンジン計測の専門家にその重要性等を講演頂き、計測の現状を理解すると共に、将来の内燃機関と測るべき対象について議論を行いたい。</p>
集合時間	13:00
定員	40名程度
申込方法	下記「申込み方法はこちら」に記載の申込方法・留意点に従い<中部支部行事申込書>に必要事項をご記入の上、お申込み下さい。
申込	2014年7月11日(金)

締切日	
参加費	《2013年度より参加費が変更になりました》 4,000円 会員外 7,000円 学生(正会員・会員外ともに)1,000円 正会員
参加者条件など	※2013年度より会員外の方もご参加頂けるようになりました。

2014 - 第2回技術交流会

開催日時	2014年11月14日(金)13:00~18:20
会場	【※場所確定】刈谷市総合文化センター「アイリス」501 研修室(刈谷市若松町 2-104) http://www.kariya.hall-info.jp/index.php?menuID=5
テーマ	『ギャノイズ克服への課題と対策』
スケジュール	<p>【第1部 講演と討論】</p> <p>13:05-13:55 ①自動車におけるギャノイズ課題 ・ドライブトレインに使用されている歯車の騒音に関わる課題、これまでの騒音対策の取り組み等。</p> <p>トヨタ自動車 ドライブトレイン実験部 基盤技術室 ギャノイズ実験G GM 弘嶋 誠司 氏</p> <p>13:55-14:45 ②新歯形論とその応用 ・歯車理論の統一を試みた新歯形論の概要と、これを活用した歯車の設計事例についての紹介。</p> <p>豊田中央研究所 材料・プロセス1部 金属加工・強度設計研究室 主任技師 青山 隆之 氏</p> <p>14:55-15:45 ③EV用低ギャノイズ減速機の開発 ・電気自動車LEAFに搭載された減速機のギャノイズ面仕上げの廉価工法採用についての紹介。</p> <p>愛知機械工業 製品開発部 シニアスタッフ 井部 精治 氏 同 技術部駆動技術 宮崎 靖浩 氏</p> <p>15:45~16:50 ④全体討議(出席者全員)</p> <p>【第2部】 ⑤意見交換会(出席者全員) ※立食形式にて、軽食・飲物のご用意があります。</p>
概要	自動車では、ギャノイズが現在でも大きな問題の一つとして残っているが、近年、歯形・材料・加工・解析等の技術の進歩により、改善が大きく進む可能性が出てきている。今回は、ギャノイズについて現在の課題の整理、また、開発現場で行われている対策事例、新しい考え方のギャ等について専門家から講演を頂くと共に、対策を進展させるための課題について、技術者同士の意見交換を行う。

集合時間	13:00
定員	40名程度
申込方法	下記「申込み方法はこちら」に記載の申込方法・留意点に従い「中部支部行事申込書」に必要事項をご記入の上、お申込み下さい。
申込締切日	2014年10月24日(金)
参加費	正会員 4,000円 会員外 7,000円 学生(正会員・会員外ともに)1,000円

2014 - 第3回技術交流会

開催日時	2015年2月13日(金)13:00~18:20
会場	刈谷市産業振興センター 6階 604会議室(刈谷市相生町1-1-6) http://www.city.kariya.lg.jp/shisetsu/sangyokeizai/sangyokoshinsenta/
テーマ	『高度運転支援から自動走行へー安全な道路交通社会を目指してー』
スケジュール	<p>【第1部 講演と討論】</p> <p>13:05-13:55 ①自動走行の現状と課題 ・自動走行、および、これに必要なシステム、センサ、データ処理技術の概要、最近の研究等の紹介</p> <p>豊田工業大学 スマートビークル研究センター センター長 三田 誠一 氏</p> <p>13:55-14:45 ②デジタル地図 ・自動走行、運転支援システムに必須の技術を基礎から現状、将来展望まで概説</p> <p>アイサンテクノロジー プロダクトソリューション事業本部 部長 佐藤 直人 氏</p> <p>14:55-15:45 ③先進運転支援システム ・通信利用技術など先進的運転システムの動向の概要を紹介</p> <p>三菱自動車工業 車両先行研究部 部長 浅田 浩之 氏</p> <p>15:45~16:50 ⑤全体討議 (出席者全員)</p> <p>【第2部】 17:00~18:20</p>

	<p>⑥意見交換会(出席者全員) ※立食形式にて、軽食・飲物のご用意があります。</p> <p>以 上</p>
概 要	<p>近年、安全な道路交通社会を目指した自動走行が話題になっており、内閣府の戦略イノベーションプログラムでは2020年代前半にレベル3車両(緊急時のみドライバが対応)の実用化を目指している。しかしながら、実際にどのようなシステムが用いられ、何が出来て何が出来ないのか、という辺りは未だ十分に理解されていない。一方で、同様な社会を目指した高度な運転支援システムの開発は地道に進められており、自動運転はその究極的な姿としても捉えられている。今回は、自動走行システム、運転支援システムの専門家を招聘し、研究開発の現状、課題、将来展望などについて基本的なところから説明をいただき、今後の車両開発、システム開発への応用を促進できるよう、参加者と共に議論をして頂く。</p>
集 合 時 間	13:00
定 員	40名程度
申 込 方 法	<p>下記「申込み方法はこちら」に記載の申込方法・留意点に従い<中部支部行事申込書>に必要事項をご記入の上、お申込み下さい。</p>
申 込 締 切 日	2015年1月23日(金)
参 加 費	正会員 4,000円 会員外 7,000円 学生(正会員・会員外ともに)1,000円

2014 - 中堅技術者懇談会 (1泊2日)

開 催 日 時	2014年10月2日(木)~2014年10月3日(金)
会 場	(株)タナベ経営 名古屋研修センター(愛知県北名古屋市九之坪山73-1)
ス ケ ジュール	<p>◎趣旨: 技術者が日頃職場で抱える諸問題や悩み、解決してきた経験などを話し合い、今後の業務に活かして頂くと共に、所属会社・経歴を越えた会員相互の研鑽と交流の場とする。</p> <p>【1日目】 09:40~09:45 開会挨拶:担当理事 羽田雅敏氏(愛知機械工業(株)フェロー) 09:45~10:10 オリエンテーション(スケジュール説明・自己紹介など) 10:10~12:00 講演:「中堅技術者に期待すること」 秋田県産業技術センター 技術顧問 斎藤 昭則氏 12:00~13:00 昼食 13:00~17:00 グループ討議:「中堅技術者の悩みと解決法」(5グループ) 17:00~19:30 休憩(入浴)、夕食 19:30~22:00 自由交流、名刺交換</p> <p>【2日目】 07:30~08:00 朝食 08:30~12:00 グループ討議まとめ 12:00~13:00 昼食 13:00~16:10 グループ発表(5グループ) 16:10~17:00 閉会、アンケート記入</p>
概 要	私が本懇談会に参加させて頂いたのは、ちょうど入社7年目にして初めてチームリーダーの

	<p>任を受けた頃でした。年齢も性格も、業務経験もばらばらなメンバーを、同じ目標に向けどう統率し、どのように仕事を割り振るとよいか模索していました。</p> <p>そんな折、本懇談会のグループ討議で同世代の同じような立場の方々と悩みを打ちあけあい、親身に解決策を議論、共有し合えたことで、悩み解決の糸口が掴めました。</p> <p>早速職場に戻って解決策（自然な会話の中で部下の話をよく聴くこと、厳しい仕事はまずは自らやる姿を示すこと等々）を実践し、日々「仲間に支持されるリーダーのあるべき姿」を意識してメンバーに接するようになったところ、以前より忌憚ない意見や提案を受けることが多くなり、より快活にメンバーと仕事を進められるようになりました。</p> <p>本懇談に参加させて頂けたこと、心より感謝いたします。また今後、後輩達にも本懇談会への参加を勧め、職場の皆の「リーダー力」を高めていきたいと思えます。</p> <p>トヨタ紡織㈱ 製品統括センター 車室空間企画室 高山 麻美</p>
定員	50名
申込方法	下記「申込み方法はこちら」に記載の申込方法・留意点に従い「中部支部行事申込書」に必要事項をご記入の上、お申込み下さい。
申込締切日	2014年7月11日(金)
参加費	《2013年度より参加費が変更になりました》 正会員 12,000円 会員外 14,000円
参加条件など	《2013年度より会員外の方もご参加頂けるようになりました》 ①35歳前後の中堅技術者 ②生産技術関係の技術者、女性技術者の方も是非ご参加ください

2014 - 若手技術者懇談会 (1泊2日)

開催日時	2014年11月6日(木)～2014年11月7日(金)
会場	㈱タナベ経営 名古屋研修センター(愛知県北名古屋市九之坪山73-1)
スケジュール	<p>◎趣旨: 技術者が日頃職場で抱える諸問題や悩み、解決してきた経験などを話し合い、今後の業務に活かして頂くとともに、所属会社・経歴を越えた会員相互の研鑽と交流の場とする。</p> <p>【1日目】 9:40～9:45 開会挨拶:担当理事 羽田雅敏氏(愛知機械工業㈱ フェロー) 9:45～10:10 オリエンテーション(スケジュール説明・自己紹介など) 10:10～12:00 講演:「いつも変わらない夢があった」 ヤマハ発動機㈱ NCV 推進部 部長 鈴木正人氏 人力飛行機「チームエアロセブシー」リーダー</p> <p>12:00～13:00 昼食 13:00～17:00 グループ討議(5グループ) 17:00～19:30 休憩(入浴)、夕食 19:30～22:00 自由交流、名刺交換</p> <p>【2日目】 7:30～8:00 朝食 8:30～12:00 グループ討議まとめ 12:00～13:00 昼食 13:00～16:10 グループ発表(5グループ) 16:10～17:00 閉会、アンケート記入</p>
概要	<p>～若手技術者懇談会参加者の声(13年度)～</p> <p>昨年若手技術者懇談会に参加し、同じ自動車業界ではありますが、普段仕事で関わることのない多くの同年代の仲間と話す機会をいただきました。</p> <p>結論から言ってしまうと、この懇談会に参加したことで、非常に大きな刺激・成果を得ることができました。</p>

	<p>普段私たちは仕事の進め方や人とのコミュニケーション、自分の将来像などの悩みがあっても、入社から年数が経っていることで今更聞けないと感じたり、内容的に職場でなかなか聞きづらいことが多くあります。そうした中、この会を通して職場を離れた同年代の人達とグループ討議をすることで、他社の方々も私と同じような悩みを抱えながら頑張っていることが分かり、またそれに対する多くのアドバイスや新たな気づきを得ることができました。</p> <p>これが仕事に対するモチベーションを高めることに大きく役に立っている、と1年近く経過した今も感じております。もちろんそこで出来た多くの人間関係は大きな財産となっています。</p> <p>最後に、このような懇談会を企画・運営いただきました事務局の方々や一緒に討議した仲間たちに感謝申し上げます。</p> <p>愛知機械工業(株) 要素製品開発部 熊田哲也</p>
定員	50名
申込方法	下記「申込み方法はこちら」に記載の申込方法・留意点に従い「中部支部行事申込書」に必要事項をご記入の上、お申込み下さい。
申込締切日	2014年9月5日(金)
参加費	正会員 12,000円 (会員外 14,000円)
参加者条件など	25～29歳の若手技術者 者、女性技術者も是非ご参加下さい。 生産技術関係の技術

2014 - フォロー懇談会

女性技術者フォロー懇談会

- (1) 日時：2015年 2月20日(金)
- (2) 場所：アイシン年金基金会館 Tel 0566-77-8011
愛知県安城市三河安城東町2-8-1
- (3) スケジュール

時 間	内 容
10:00 ~ 10:30	主旨説明、自己紹介
10:30 ~ 12:00	グループ別討議 (テーマ：女性技術者の悩みと解決法)
12:00 ~ 13:00	昼食、休憩
13:00 ~ 15:30	グループ別討議・まとめ (午前の続き)
15:50 ~ 17:20	発表 & アドバイザーを交えた意見交換
17:30 ~ 19:00	自由交流会

女性技術者のアドバイザーに参加いただき、グループ討議、発表、意見交換、自由交流会の場で、質問への回答や悩みなど一緒に考え、アドバイスをいただきます。

★アドバイザー：金子 美智代様(トヨタ自動車)

2014年度 社会貢献行事

	開催日	開催地	会場	プログラム・参加者募集目安			協業大学
				モノづくり体験 (募集：40人)	エンジン分解組立 体験 (募集：16人)	展示	
第1回	7/20 (日)	富山県 富山市	富山市科学博物館	◇プログラム 「風に向かって走れ!ウインドカー」 ①フルコース ◇実績：35人	◇プログラム 「クルマのメカに触れてみよう!」 ◇実績：14人	—	富山大学 金沢大学 金沢工業大学
第2回	9/20 (土)	福井県 坂井市	福井県児童科学館 (エンゼルランドふくい)	◇プログラム 「風に向かって走れ!ウインドカー」 ①フルコース ②あっさりコース ◇実績：①8人 ②85人	◇プログラム 「クルマのメカに触れてみよう!」 ◇実績：6人	フォーミュラカー (福井大学)	福井大学
※	9/27 (土)	愛知県 刈谷市	刈谷市産業振興センターあいおいホール	◇プログラム 「風に向かって走れ!ウインドカー」 ①フルコース ◇実績：39人	—	—	名城大学
第3回	10/18 (土)	岐阜県 瑞浪市	岐阜サイエンスワールド	◇プログラム 「風に向かって走れ!ウインドカー」 ①フルコース ②あっさりコース ◇実績：①39人 ②64人	◇プログラム 「クルマのメカに触れてみよう!」 ◇実績：17人	—	岐阜大学
追加： 施設主体	10/25 (土)	石川県 小松市	こまつの杜	◇プログラム 「風に向かって走れ!ウインドカー」 ①フルコース ◇実績：15人 (募集16人)	—	—	—
第4回	11/29 (土)	三重県 松阪市	みえこどもの城	◇プログラム 「風に向かって走れ!ウインドカー」 ①フルコース ②あっさりコース ◇実績：①25人 ②26人	◇プログラム 「クルマのメカに触れてみよう!」 ◇実績：14人	—	名城大学 静岡理工科大学 岐阜大学 三重大学

※技能五輪プレイベント，2014年度限り

2014年度 学自研行事

委員長校：静岡理工科大学 副委員長校：金沢大学、名城大学

 は役員会を示す

開催年月	行事名	開催場所（担当大学）	参加校
2014年 4月19日(土)	参与会#1 学生委員会#1	刈谷市産業振興センター (委員長校：静岡理工科大学)	参加校10校 参加人員28人
4月27日 (日)	新入生ものづくり セミナー	豊橋技術科学大学 (豊橋技術科学大学)	参加校6校 参加人員42人
5月18日 (日)	走行技術トレーニング #1	小笠山総合運動公園エコパ (名古屋工業大学)	参加校15校 参加人員227人

5月31日 (土)	基礎技術交流会#1	刈谷市産業振興センター (フォーミュラWG、OP会)	参加校15校 参加人員61人
6月22日 (日)	走行技術トレーニング #2	小笠山総合運動公園エコパ (静岡大学、静岡理工科大学)	参加校9校 参加人員159人
7月5日(土)	学生委員会#2	刈谷市産業振興センター (委員長校：静岡理工科大学)	参加校11校 参加人員14人
7月26(土) ～27(日)	走行技術トレーニング #3	小笠山総合運動公園エコパ (金沢大学、静岡理工科大学)	参加校31校 参加人員191人
8月4日(月) ～6日(水)	3支部合同 学生フォーミュラ試走会	富士スピードウェイ (3支部)	中部支部参加校9校 参加人員128人
8月23日(土)	基礎技術交流会#2 (プレゼン講習会2)	刈谷市産業振興センター (フォーミュラWG、OP会)	参加校10校 参加人員20人
9月27日(土)	走行技術トレーニング #4	小笠山総合運動公園エコパ (名城大学、静岡理工科大学)	参加校12校 参加人員144人
10月4日(土)	参与会#2 学生委員会#3	刈谷市産業振興センター (委員長校：静岡理工科大学)	参加校13校 参加人員15人
10月4日(土)	FSAE参戦報告会	刈谷市産業振興センター (金沢工業大学)	参加校10校 参加人員27人
11月8日(土)	自動車テクニカル セミナー#1	ヤマハ発動機(株) (豊橋技術科学大学)	参加校5校 参加人員24人
11月22日(土)	四輪駆動車試乗会	さなげアドヴェンチャー フィールド (愛知工業大学)	参加校5校 参加人員22人
12月20日(土)	基礎技術交流会#3 (キャリア相談会)	刈谷市産業振興センター (フォーミュラWG、OP会)	参加校6校 参加人員24人
2015年 1月24日(土)	学術研究講演会	刈谷市産業振興センター (委員長校、副委員長校)	参加校12校 参加人員55人
1月24日(土)	学生委員会#4	刈谷市産業振興センター (委員長校)	参加校12校 参加人員14人
3月5日(木) ～6日(金)	学自研学生と社会人 技術者との懇談会 (1泊)	トヨタ紡織猿投工場、 つどいの丘 (豊橋技科大・名古屋大)	参加校3校 参加人員26人

支部行事への協力

キッズ・モノ づくり ワンダーランド	7月20日	富山	(富山大学、金沢工業大学、金沢大学)
	9月20日	福井	(福井大学)
	9月27日	愛知	(名城大学)
	10月18日	岐阜	(岐阜大学)
	11月29日	三重	(三重大学、岐阜大学、名城大学、静岡理工科大学)